

2023

Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2023年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 中澤 宏
(北陸銀行 頭取)



取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2023年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。本誌では、2023年3月期の業績ならびに各種取り組みについてご紹介しております。

当社グループを取り巻く環境は、経済活動が正常化の方向へ徐々に進んでおり、全体として緩やかに持ち直しの動きがみられました。

一方、地政学リスクの高まりを受けたエネルギーや食糧等の供給制約や価格高騰、労働需給の逼迫などを背景に、世界的なインフレ圧力が高まりつつあります。各国で大幅な金融引き締めが実施され、その影響は為替相場の急激な変動や国内金融政策の修正にも表れるなど、先行きは不透明な状況にあります。

こうした中で、当社グループが“地域とともに前(未来)へ進む”という強い思いを込め、2022年4月よりスタートした第5次中期経営計画『Go forward with Our Region』(2025年3月まで)は2年目を迎えております。当社グループの各種サービスや機能を通じ、お客さまのステージに合わせた価値提供を行うことが、地域社会の持続的な発展にも寄与すると考えております。

「地域に根差した活動こそ原点である」との考えに基づき、地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の持続的成長への貢献を実現すべく、役職員一丸となって取組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年6月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
長期ビジョンと中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
株式のご案内	14

長期ビジョンと長期戦略

長期ビジョン | 課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する

ほくほくフィナンシャルグループは、長期ビジョンを実現するため「課題解決力進化」「経営基盤構築」「企業風土醸成」の3つの長期戦略を進めてまいります。

中期経営計画の概要

『Go forward with Our Region』 2022年4月～2025年3月

位置づけ | 長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

ほくほくフィナンシャルグループは、各ステークホルダー（地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等）の当社グループに対する期待・ニーズにしっかりと応えるため、課題解決力の強化やビジネスモデル変革に挑戦してまいります。

6つの重点戦略



重点指標

連結/2行合算	2022年度実績	2024年度(計画最終年度)	長期目標(10年後)
連結当期純利益	214億円	250億円以上	350億円以上
連結自己資本比率	9.49%	9%台後半	12%以上
OHR	62.39%	60%台前半	50%台
非金利収入比率 (非金利収入額)	16.14% (193億円)	16%台 (200億円以上)	18%以上 (250億円以上)
環境関連投融資実行額(累計)	1,474億円	2,100億円	7,000億円

※OHR、非金利収入比率(額)、環境関連投融資実行額は2行合算

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2023年 3月期	前 期 比	2022年 3月期
経常収益	1,878	100	1,777
経常利益	263	△ 38	302
親会社株主に帰属する当期純利益	214	9	205
自己資本比率	9.49%	△ 0.05%	9.54%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2行合算		
	2023年 3月期	前 期 比	2022年 3月期
経常収益	1,741	121	1,619
コア業務粗利益	1,198	△ 49	1,248
経費 (臨時処理分を除く)	747	△ 40	788
コア業務純益	450	△ 9	460
除く投信解約損益	441	△ 6	448
与信費用	77	△ 58	135
経常利益	269	△ 34	304
当期純利益	230	11	218

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2023年 3月期	前 期 比	2022年 3月期
経常収益	972	82	889
コア業務粗利益	652	△ 31	684
経費 (臨時処理分を除く)	394	△ 22	417
コア業務純益	258	△ 9	267
除く投信解約損益	249	△ 6	255
与信費用	93	8	85
経常利益	145	△ 63	209
当期純利益	143	12	131
自己資本比率	9.06%	△ 0.25%	9.31%

[連結]

連結経常収益は、有価証券利息配当金の増加や株式等売買益の増加を主因に増加しました。

連結経常利益は、外国証券の売却に伴う国債等債券損益の減少を主因に減少しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の減少により増加しました。

連結自己資本比率は、リスクアセットの増加等により低下しました。

[セグメント]

北陸銀行では、経常収益は、株式等売買益の増加を主因に増加しました。経常利益は、国債等債券損益の減少や与信費用の増加により減少しました。当期純利益は、法人税等の減少により増加しました。

北海道銀行では、経常収益は、有価証券利息の増加を主因に増加しました。経常利益は、国債等債券損益が減少したものの与信費用の減少により増加しました。当期純利益は、特別損益の減少により前期比同水準となりました。

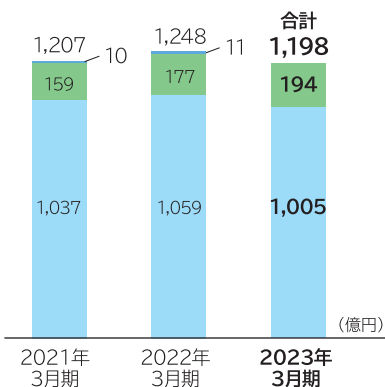
(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2023年 3月期	前 期 比	2022年 3月期
経常収益	769	39	729
経常利益	546	△ 18	564
経費 (臨時処理分を除く)	353	△ 18	371
当期純利益	192	0	192
特別損益	192	△ 0	192
与信費用	△ 16	△ 66	49
経常利益	124	28	95
当期純利益	87	△ 0	87
自己資本比率	8.99%	0.05%	8.94%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **1,005億円**

海外金利上昇による外貨調達費用の増加により、前期比54億円減少しました。

役員取引等利益 **194億円**

法人コンサル手数料の増加、ローン保険料・保証料の減少により、前期比16億円増加しました。

その他 **▲0億円**

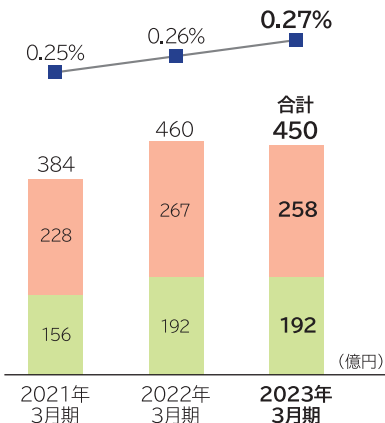
外国為替売買損益の減少により前期比12億円減少しました。

コア業務粗利益 **1,198億円**

上記の結果、前期比49億円減少しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

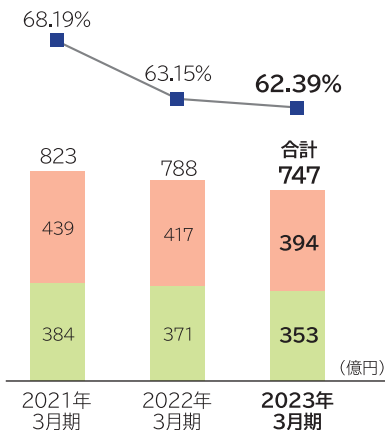


コア業務純益 **450億円**

資金利益の減少と役員取引等利益の増加、及び経費の減少により、前期比9億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

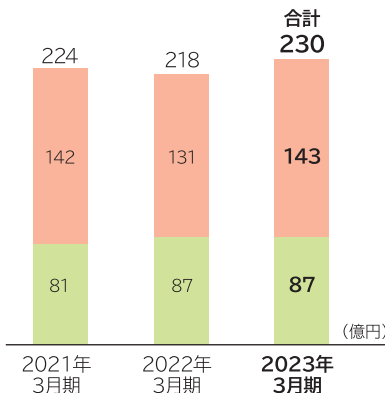


経費 **747億円**

業務効率化による人員の減少と預金保険料、減価償却費の減少により、前期比40億円減少しました。

■ 当期純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



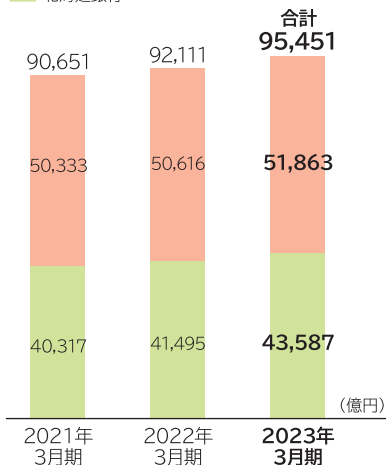
当期純利益 **230億円**

外国証券の売却に伴う国債等債券損益の減少を主因に経常利益は減少しましたが、当期純利益は法人税等の減少により、前期比11億円増加しました。

貸出金・預金等の状況

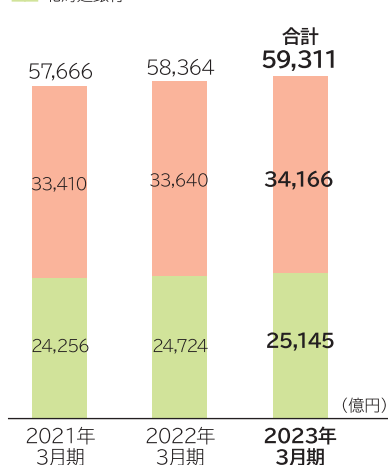
■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



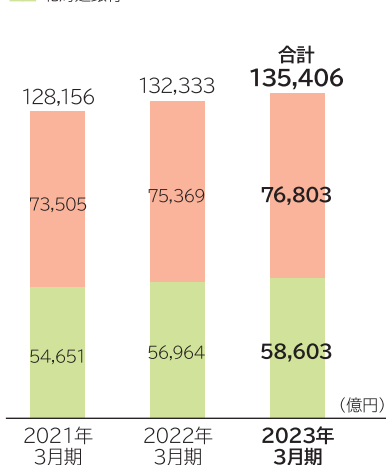
■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



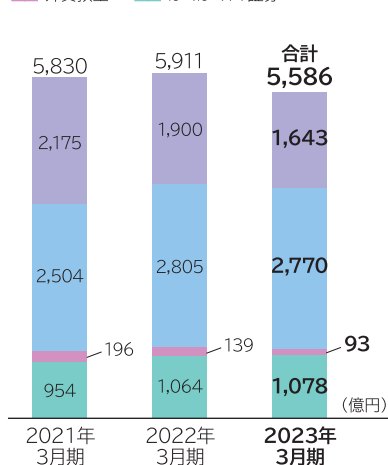
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



■ 個人向け投資型金融商品<2行合算+ほくほくTT証券>

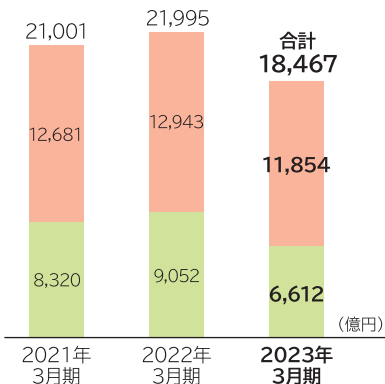
公共債
外貨預金
投資信託
ほくほくTT証券



有価証券残高・健全性の指標

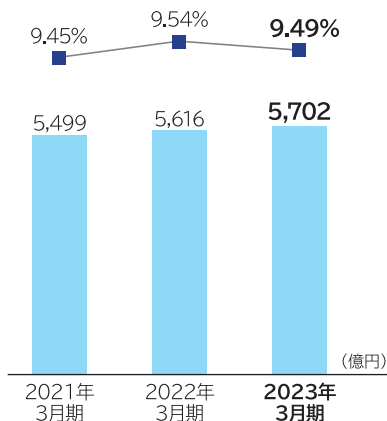
■ 有価証券残高<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



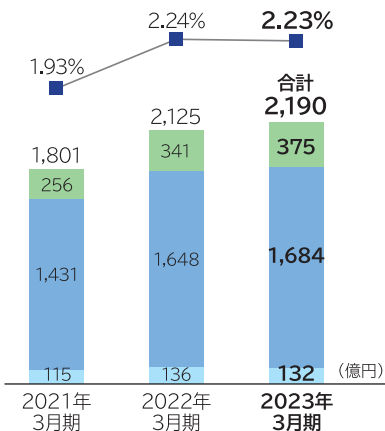
■ 自己資本比率<FG連結>

自己資本
自己資本比率



■ 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 128,770,814株
第1回第5種優先株式 64,469,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2023年6月27日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	中澤 宏	取締役(社外)	横井 裕
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥
取締役	坂本 嘉和	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	坂井 章	取締役監査等委員(社外)	小川万里絵

■ 従業員の数 兼務者88名

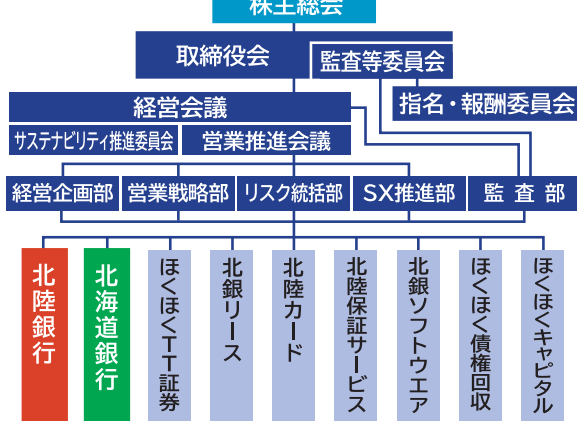
■ 設立日 2003年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、当社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。5名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等に関する意見の決定等を行います。
指名・報酬委員会	取締役・経営陣幹部の人事・報酬に関する事項への助言・関与等を行います。取締役3名以上、うち過半数を社外取締役で構成し、委員長は社外取締役の中から選定することで、独立性を確保します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
サステナビリティ推進委員会	グループのサステナビリティ経営の方向性や戦略、リスク管理について検討します。
営業推進会議	グループ子会社の営業の方向性や戦略、連携強化について検討します。
フィナンシャル・リーダー会議	グループの顧客本位の業務運営の実践状況を確認・評価し、必要な対応・改善策について検討します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1.傘下子会社の経営管理および附帯業務
2.その他銀行法が認める業務

■ 組織図 (2023年4月1日現在)

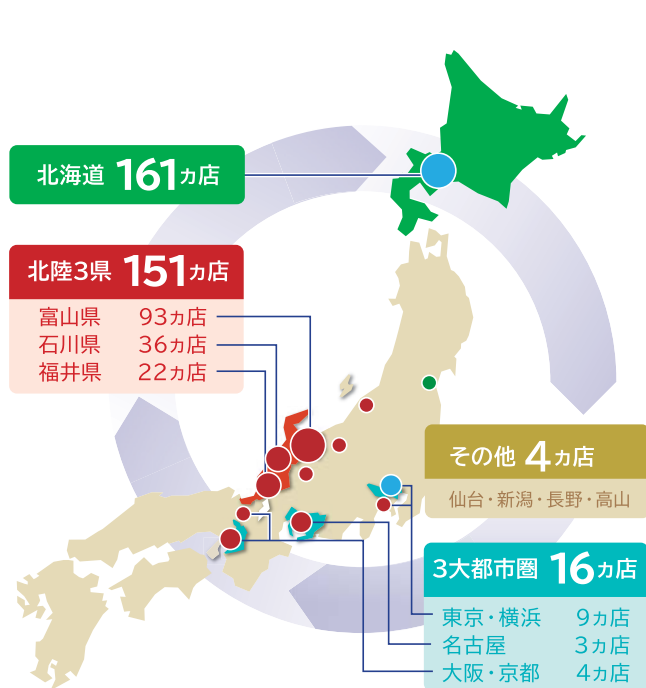


■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくT証券(株)
ほくほくT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

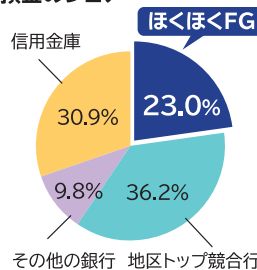
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域とお客さまの繁栄に貢献していきます。

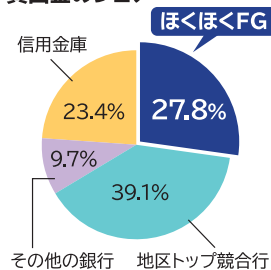


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

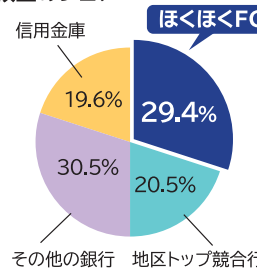


貸出金のシェア

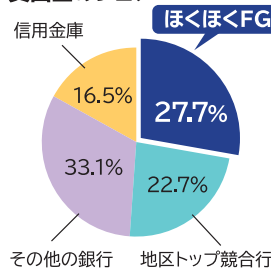


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2022年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」シェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

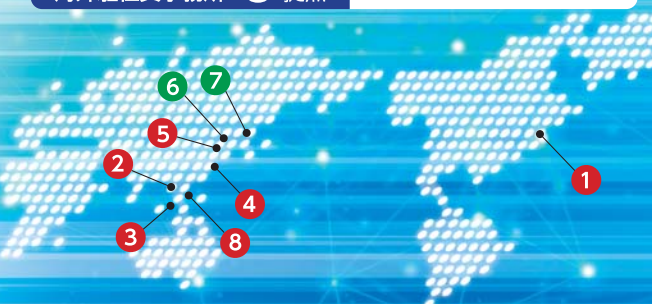
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑤ 大連駐在員事務所 |
| ② バンコク駐在員事務所 | ⑥ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ シンガポール駐在員事務所 | ⑦ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ 上海駐在員事務所 | ⑧ ホーチミン駐在員事務所 |

海外駐在員事務所 8 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 2



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しております。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。











2019年4月1日






株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

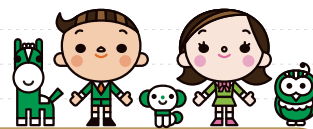
経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現  <ul style="list-style-type: none"> ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する 
	<ul style="list-style-type: none"> ◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める
	地域における金融リテラシーの向上  <ul style="list-style-type: none"> ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する 
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築  <ul style="list-style-type: none"> ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する 
	すべてのお客さまにとっての利便性の向上  <ul style="list-style-type: none"> ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める 
進取創造	生産性向上に繋がる職場づくり  <ul style="list-style-type: none"> ◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む 

 … 環境  … 社会  … ガバナンス



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!

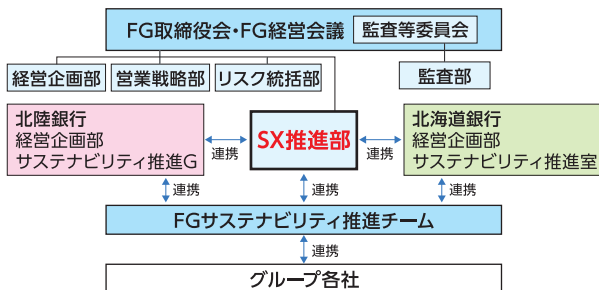


持続可能な地域社会の実現

ほくほくFG SX推進部の新設

2023年4月、当社は、「自社グループ、お取引先、地域といった当社のステークホルダーにおけるサステナビリティに関する重要課題解決を目指す」ことを目的にSX推進部を新設しました。

SX推進部として取り組む優先課題として、まずは、地域における「脱炭素化の実現」を進めていきます。



北陸銀行 なんとの森づくり事業への協力

2022年10月、富山県南砺市遊部自治会が推進する「なんと森づくり事業」に協力参加しました。世界遺産である「五箇山合掌造り」の屋根に使用する

素材の茅不足を改善するために行員15名と地域住民を含めた約80名で、茅苗の植栽作業や成長した茅の刈り取り作業を行いました。



ほくほくFG パーセフォニの炭素会計システム活用

2023年3月、当社はSCSK株式会社の支援のもと、国内の地方銀行としては初めて、企業・金融機関・政府機関向け気候管理・炭素会計プラットフォーム(CMAP)を提供するパーセフォニ(本社:米国アリゾナ州テンピ)の温室効果ガス(GHG)排出量算定プラットフォームを活用し、算定高度化への取り組みを開始いたしました。

自社排出量およびファイナンス・エミッション(投融資先企業での温室効果ガス)の一元算定を行うことを通じて脱炭素化への取り組みを強化していきます。



北陸銀行 地産木材を活用した再生可能エネルギーの創出について

北陸銀行は「ほくほくソーラーパーク」の建設工事中に伐採された木材(総重量約22トン)を株式会社グリーンエネルギー北陸に無償提供いたします。

その地産木材を活用することで一般家庭向けの再生可能エネルギーを創出することができます(約13,800kWh分)。加えてグリーンエネルギー北陸においては、通常海外からの木材輸入における輸送にかかるCO₂排出量の削減にも貢献することとなります。



ほくほくソーラーパーク

地産木材提供



再生可能エネルギー創出

北陸銀行

支援型自動販売機の導入

2022年10月、北陸銀行は北陸コカ・コーラボトリング株式会社と「支援型自動販売機設置に関する協定」を締結しました。北陸銀行の関連施設に設置している自動販売機を対象に、ドリンク等の購入を通じて売り上げの一部をSDGsに積極的に取り組む地域の団体等に寄付し、

その活動費用等に役立てていただく取り組みです。

本部関連施設および北陸3県の営業店に設置済みの自動販売機約40台を支援型に切り替えしました。



北海道銀行

「北海道 地域応援プラットフォーム」開設

2022年10月、北海道銀行は北海道電力株式会社、株式会社NTT東日本-北海道、パーソルホールディングス株式会社とともに「北海道地域応援プラットフォーム」を開設しました。本プラットフォームは4社がもつエネルギー、金融・経営、DX・マーケティング、人材に関する知見やサービス、企業同士のコミュニケーションの場を提供し、ビジネスの課題解決をサポートするオンライン上のコミュニティサイトです。道内各企業より事業に関する課題を伺い、支援の提案や知見となる情報などの発信を行います。



北海道銀行

X-Tech Innovation2022開催

2022年12月、スタートアップ企業から各業界・業種を横断するデジタルテクノロジーを活用した新しいサービスを広く募集するビジネスコンテスト「X-Tech Innovation2022」を岩手銀行、七十七銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、沖縄銀行と共同で開催しました。北海道地区最終選考会は3年ぶりに一般観覧を可能とし、9社が革新的で斬新な商品・サービスのプレゼンテーションを行いました。



地域における金融リテラシーの向上

ほくほく
FG

エコノミクス甲子園を開催

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年12月にエコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では、富山・福井大会を、北海道銀行では北海道大会の運営を行いました。2023年2月、3年ぶりとなる対面での全国大会

が開催され、北海道代表チームが見事全国初優勝の快挙を成し遂げました。



健全で強靱な経営基盤の構築



ほくほく FG 「フィデューシャリー・デューティー」への取り組み

2023年2月、当社グループにおける顧客本位の業務運営の実践状況を確認・評価し、必要な対応・改善策の検討を行う委員会として、当社、北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券の役職員により構成する「フィデューシャリー・デューティー推進委員会」を新設

いたしました。

同委員会での議論を踏まえて今回基本方針を改定するとともに、毎年度作成している『「フィデューシャリー・デューティー」への取組方針』の2023年度版を策定いたしました。

新たな基本方針のもとで、当社グループは引き続きお客さま本位の業務運営を徹底し、お客さまの安定的な資産運用・資産形成に貢献してまいります。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上



ほくほく FG ポータルアプリ ことら送金・QR納税サービスへの対応

2023年4月、北陸銀行および北海道銀行は、10万円以下の個人間送金を手数料無料でご利用いただける「ことら送金」機能と、地方税統一QRコードが印字された地方税納付書をスマートフォンで読み取り、自動車税・軽自動車税・固定資産税などの納付ができる「QR納税」機能を搭載し、アプリの利便性を飛躍的に向上させました。

北陸3県に本店を置く地方銀行が提供するスマートフォン向けアプリに両機能が搭載されるのは初めてであり、先進的な取り組みとなります。

北海道銀行 道内信用金庫等とのATM相互無料提携の実施

2022年11月、北海道銀行は伊達信用金庫・釧路信用組合・道南うみ街信用金庫とATM相互無料提携いたしました。本提携により相互のお客さまが他行利用手数料を無料でご利用いただけるATMが大幅に増加することでお客さまの利便性が向上しました。(道内信用金庫・信用組合とのATM相互無料提携は全12行となります。)



「QR納税」ボタンを押下

「スキャンする」ボタンを押下

QRコードを読み取る

「納付する」ボタンを押下し納付実施

ATM相互無料提携の開始について



生産性向上に繋がる職場づくり



ほくほく
FG

「ビジネスカジュアル」の試行開始について

北陸銀行および北海道銀行は、「ビジネスカジュアル」の試行を開始しました。

今回の試行は、当社の中期経営計画で掲げる「ウェルビーイングのある働き方の実現」に向けた取り組みの一つであり、自由な服装での勤務を認め、TPO(時・場所・場合)に合わせた服装の選択を可能とすることで、自由闊達で創造力を発揮しやすい企業風土の醸成を図ります。

当社グループは、職員一人ひとりの個性や自主性を尊重し、多様な価値観や新しい発想を尊重する職場環境を整備することで働きやすさを高め、お客さまへのサービス向上に努めてまいります。

ほくほく
FG

健康経営優良法人2023大規模法人部門(ホワイト500)の認定

2023年3月、北陸銀行および北海道銀行は経済産業省が創設した「健康経営優良法人2023大規模法人部門(ホワイト500)」の認定を受けました。両行とも6年連続との認定となります。

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践していると認定された大規模法人部門の中でも、調査結果上位500社のみが認定されます。

今後も、多様な人材の活躍支援やワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的に取り組み、誰もが活躍できる職場環境を整備してまいります。



株主総会資料の電子提供制度について

1. 株主総会資料の電子提供制度

会社法の改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、これまで書面でご提供しておりました「株主総会招集ご通知」は、今後、当社ウェブサイト等に掲載する方法に変わります。なお、掲示するウェブサイトのURLや日時・場所等は株主総会を開催する都度書面にてご通知いたします。

2. 書面交付請求

引き続き「株主総会招集ご通知」を書面で受領されることを希望される株主様は、株主総会の基準日までにお手続きいただく、これまでどおり書面にてお受け取りいただけます。

〈書面交付請求のお申し出〉

お取引の証券会社、または当社株主名簿管理人(以下)にて所定のお手続きをお取りください。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行 証券代行部		
専用ダイヤル	0120-524-324	受付時間	平日9:00~17:00

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(プライム市場)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
		みずほ フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
支払明細の発行	みずほ信託銀行の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
------------	--------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2021年度	2022年度	2023年度 (予定)
35.0	37.0	37.0

2022年度の普通株式配当につきましては、前期比2円増配の、期末一括配当1株当たり37円とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

経営企画部広報CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。